

# 大谷學報

第四十二卷 第三號

昭和三十八年一月十五日發行

伝記作者としての

サミュエル・ジヨンズン……中原 章雄……(一)

カント「判断力」の一考察……塚本 正孝……(二三)

張商英の護法論とその背景

……安藤 智信……(二九)

大学の町を訪ねて……雲井 昭善……(四)

——ドイツ旅行より——

秋季公開講演要旨……(四)

〈書評〉

印度中世精神史 中……佐々木教悟……(五四)

新刊紹介……(五)

彙 報……(五)

大 谷 大 學

大 谷 學 會

大谷学報 第四十二卷 第二号

宗教的根本罪障……………二 村 竜 華

芭蕉の我意識……………山 本 唯 一

高歆高澄の奉仏事情と

儒教・道教への態度……………諷 訪 義 純

——東魏仏教の一考察——

親鸞における社会観の構造(下)……………柏 原 祐 泉

アメリカにおける現代思想と

宗教(下)……………佐々木現順

大谷学報 第四十二卷 第四号予告

教行信証の性格……………金 子 大 栄

成立史よりみた戯曲「タッソー」……………岸 繁 一

農民保護策に関する若干の覚書……………北 西 弘

〈書評〉

「慧遠研究」遺文篇……………間 野 潜 竜

# THE OTANI GAKUHO

( THE JOURNAL OF  
BUDDHOLOGY AND CULTURAL SCIENCE )

## CONTENTS

### Articles :—

Samuel Johnson the Biographer .....Akio Nakahara ( 1 )

On Kant's 'Urteilskraft'.....Shōkō Tsukamoto ( 15 )

*Hu-fa-lun* 護法論 by Zhang-Shang-Ying 張商英

and the Background of its Composition.....Chishin Andō ( 29 )

Cities of Universities in Germany .....Shōzen Kumoi ( 41 )

The Otani Society Public Lectures (Epitome)..... ( 46 )

### Book Reviews :—

Prof. E. Kanakura's 'History of the Spirit

of Medieval India' .....Kyōgo Sasaki ( 54 )

Reports

## 大谷學會規程

會務を統理する。

第一條 大谷大學に大谷學會を置く。

第二條 本會は眞宗學・佛教學・哲學・

史學・文學並びにこれに関連する學術の研究と、その發表をおこなうことを目的とする。

第三條 本會は前條の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷學報」の發行

二、「大谷大學研究年報」の發行

三 研究會及び公開講演會の開催

四、その他必要なる事業

第四條 本會は大谷大學大學院・文學部

並びに短期大學部のすべての教育職員及び學生をもつて會員とする。

2、前項のほか、本會の趣旨に賛同し、役員會において承認されたものは、會員となることができる。

第五條 本會に左の役員を置く。

一、會長

二、委員

第六條 會長には大谷大學學長が當り、

第七條 委員は十名とし、教授會において互選する。

2、委員は企畫・編集・出版等の會務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し、再任をさまたげない。

第八條 會員は、本會の出版物にその研究を發表し、「大谷學報」並びに「大谷大學研究年報」の配布を受け、本會主催の會合に出席することができ

る。

第九條 會員の會費は年額金壹千圓とする。

第一〇條 本會の經費は會費をもつてこれに當てる。

2、本會の必要經費については、助成金を受けることができる。

第一一條 本會の事務は、教務課の所管とする。

二條 この規程の改正には、教授會の議を経なければならない。

一附則 この規程は昭和三十七年四月

一日から施行する。

2、昭和二十七年四月一日施行の「大谷學會會則」はこれを廢止する。

## 大谷學會役員

會長 會我量深

委員 阿部行人 岩見 至 横超懸日

坂本 弘 佐々木教悟 多屋頼俊

野上俊靜 廣瀬 杲 藤島達朗

舟橋一哉

昭和三十八年一月十五日發行

大谷學會代表者

編集者 松 原 祐 善

印刷者 西村 七 兵 衛

京都市北區小山上總町

大谷大學内

發行所 大谷學會